

「英語で教室から世界とつながる」プラットフォーム事業

“Opening a New World from the Classroom” Project, Hiroshima



Cheonan Gaon Middle School



東広島市立豊栄中学校

交流の概要

学年：第1～3学年（各学年1クラス）

単元名：第1学年 ①Lesson1 About Me / Lesson2 My Hero

②Lesson6 School Life in the U.S.A.

第2学年 ①Lesson2 Fun with Books / Lesson3 My Dream

②Lesson5 Visiting Australia

第3学年 ①Lesson 2 The Power of Music

②Lesson 4 Bollywood Movies

(NEW CROWN English Series 1・2・3)

ねらい：日本と韓国の文化や学校生活について、共通点や相違点を見つけながら、会話を継続することができる。

自己紹介を行って交流



全てのグループでモニターに接続し、クイズ形式で文化等を紹介しながら交流



活動内容：

①自己紹介（グループ）（1回目 全学年）

自己紹介カードを作成し、事前にメールで送付し合った。届いたプロフィールカードを参考に、好きなものや趣味等について、伝えたり、質問したりしながら、自己紹介し合った。全学年を縦割りでグループ編成し、交流した。

②学校生活について紹介（グループ）（2回目 第1学年）

Lesson6 School Life in the U.S.A.で、日本とアメリカの学校生活の違いについて学んだ。さらに学習を深めるため、互いの学校生活について紹介した後、質問したり答えたりしながら、共通点や相違点について交流した。

③修学旅行について紹介（グループ）（2回目 第2学年）

Lesson 5 Visiting Australiaでは、広島県の魅力を紹介するパンフレットを作成した。修学旅行先で、海外からの観光客にパンフレットを見せながらインタビューをした内容や見学したものなどについて紹介した。韓国の生徒は韓国の文化について紹介し、互いに紹介し合ったことについて、質問したり、答えたりしながら交流した。

④日本文化について紹介（グループ）（2回目 第3学年）

Lesson4 Bollywood Moviesで学んだ会話を継続させるための表現を活用し、日本文化について「地理」「文化」「食」「言葉」のグループに分かれ、クイズを交えて紹介しながら交流した。

⑤Free Conversation（グループ）（2回目 全学年）

互いに話した内容について感想を伝え合ったり、質問したりしながら、互いの興味・関心のある事柄について交流した。

※学年ごとに決めたテーマについて、紹介し合った。また、互いに聞いた内容について質問をしたり、感想を伝えたりしながら会話を継続させた。

《交流方法：Google Meet》

大切にしたこと

年度当初に、韓国とのオンライン交流を行うことを生徒に伝え、期待感を高めるとともに、交流までの見通しをもたせた。交流に向けて既習事項を活用できるよう、各単元のゴールに、交流を意識したやり取りや発表などの言語活動を位置付けた。また、相手国の生徒を身近に感じ、意欲的に交流に取り組めるよう、事前に相手校の担当教員と連携し、互いに自己紹介カードを送り合う活動を設定した。さらに、2度の交流から学んだことを表現することができるように、交流後には感謝の気持ちを伝える手紙を書く活動を取り入れた。

生徒の声

- ・英語があれば世界と繋がれることを実感できた。
- ・英語が話せなくても、相手が理解しようとしてくれた。
- ・英語ができるかできないかより、コミュニケーション力が必要になった。
- ・次はもっと質問できるようにになりたい。次の交流が楽しみだ。
- ・共通の話題で盛り上がり楽しかった。
- ・もっと単語を覚えて英語で会話できるようにになりたい。

交流を終えて

先生の声

当初、本校の多くの生徒は海外の人と関わることに消極的な様子であったが、本事業を通して、自身の伝えたいことが英語で伝わり、海外の同年代の生徒と交流できた喜びや楽しさを実感していた。多少間違っても、相手とコミュニケーションを図ることができると感じる生徒が多かった。一方で、英語で伝える難しさを感じている場面もあり、そうした経験を通して、何を学びたいか考えるなど、生徒の主体的な学びに向かう姿を引き出すことができたと感じている。